

# アーツカウンシルさいたま 「ところでなにする?:さいたまアーツコモンズツアー2024 ~ 第6回 表現と場所の関係編~」を開催します

アーツカウンシルさいたまでは、さいたま市内で様々な領域(福祉、環境、教育など)の創造的な活動を行っている場所を巡り、場所〔ところ〕での活動〔なにする?〕をアーティストと共に体験する全6回のツアープログラムを開催します。

本プログラムで巡る、豊かな創造活動を営み、誰でも参加できる場所を「さいたまアーツコモンズ※」と捉え、その場所で過ごした時間を語り合います。

「アート」に関心がある方、さいたま市内の「場所」や「活動」についてもっと知りたい方、「アーティスト」と時間を過ごしたい方など、どなたでもご参加いただけます。ぜひ、ご参加ください。 ※コモンズ…共有地。

### 開催概要

**日 時** | 2025年2月22日 (土) 13:30~16:00 (受付13:00~)

会 場 | GAFU -gallery & space- (さいたま市南区別所3-21-4)

**案内役** | 藤浩志(アーティスト)、船岡まり子(場所の人)、三浦匡史(ファシリテーター)

プログラム | ①これまでの5回のプログラムを振り返る

②GAFU -gallery & space-を見学する

③全員で語り合う

定 員 | 40名

参加費 | 無料

申込み | 2025年1月8日 (水) 10時~受付開始 (先着順)

下記URLよりお申し込みください。

https://ws.formzu.net/fgen/S22038810/

詳細情報|アーツカウンシルさいたまWEBサイト

https://saitama-culture.jp/artscommonstour6/

取材に関するお問い合わせ先はこちら

主催:アーツカウンシルさいたま

TEL. 048-767-5350 (火~土 9:00~17:00、日・月・祝日休み、月曜日が祝日の場合、火曜日も休み)

MAIL. artscouncil@saitama-culture.jp



### 案内役

# 藤 浩志 (美術家)

1960年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中・演劇に没頭した後、公共空間での表現を模索。同大学院修了後パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初的表現と文化人類学に出会う。バブル崩壊期の再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市を学ぶ。「地域資源・適性技術・協力関係」を活用し地域社会に介入するプロジェクト型の美術表現を模索する。現在、秋田公立美術大学教授、NPO法人アーツセンターあきた理事長を務める。



## 船岡 まり子 (GAFU -gallery & space-)

報告展示会も2024年3月に開催された。

築91年の船岡キャンバスの工場跡地を「地域交流の場に」として「GAFU -gallery &space-」にリノベーション。地域に開かれた、みんなが楽しめるミュニケーションの場としてのギャラリーを目指し、オープンから様々な企画が行われている。南区別所にキャンバス工場があったことを伝える機会をつくるため、キャンバスを吊るす船型の天井の2階部分は残し、1階部分をスペースとして活用している。「さいたま国際芸術祭2023」の



#### 【ファシリテーター】

# 三浦 匡史 (都市づくりNPOさいたま理事・事務局長、個人事務所地域生活デザイン代表)

まちづくりに関する調査、計画、設計を専門領域としつつ、さまざまな市民活動のつなぎ役と して活動。

### アーツカウンシルさいたまについて



アーツカウンシルさいたまでは、あらゆる人に文化芸術を創造・享受する機会を提供し、心豊かに生活できるまちを創出することを目指し、「暮らしの中で文化芸術と触れ合う機会の増加」「文化芸術の新たな創造環境の創出」「文化芸術を通じて、将来のさいたま市を考える」ことに取り組んでいます。

本プログラムでは、「さいたま国際芸術祭」などの取り組みにより創出された、市民などによる文化芸術活動の継続・発展を図るとともに、日常的に文化芸術に親しむ環境づくりを進めます。

公式Webサイト 公式X(旧Twitter) 公式Facebook 公式note https://saitama-culture.jp/aboutus/ https://twitter.com/artscouncilSITM https://www.facebook.com/artscouncil.saitama/

https://note.com/artscoucil\_sitm/



令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点事業